

囲領道路の進捗状況は



山岡 幹雄 議員

囲領道路の経過報告について

平成22年1月31日現在

地区名	市道認定路線		市道未認定路線		備 考 (左記に含まず)
	路線数	路線延長(m)	路線数	路線延長(m)	
佐屋地区	13	1,986	1	100	
立田地区	2	51	3	192	隅切りのみの路線 市認定路線 6路線 8箇所 市未認定路線 —
八開地区	1	75	4	220	隅切りのみの路線 市認定路線 1路線 1箇所 市未認定路線 —
佐織地区	132	13,855	64	3,355	隅切りのみの路線 市認定路線 16路線 32箇所 市未認定路線 7路線 9箇所
合 計	148	15,967	72	3,867	隅切りのみの路線 市認定路線 23路線 41箇所 市未認定路線 7路線 9箇所

質問
 囲領道路の進捗状況は。どうしたら解消できるか。解消できないのは何が問題になっているのか。

経済建設部長
 地元説明会を7町内16回開催しており、用地測量は、大野山町と北河田町の2町内で実施した。解消については、町内で将来に向けて、地域として囲領道路をどのようにしていくか話し合いをしていくことが重要だ。問題となっていることは、1路線のすべて土地所有者の同意が必要な

ことと、今まで町内から多少でも囲領費をうけとっていただけの箇所もあり、それを市へ寄附採納することを理解していただけないことだ。

質問
 地域にとって、囲領問題解消の最大のメリットは何であるか。

経済建設部長

将来、世代がかわってくる、土地のトラブルなども出

てくる。道路や民地境界、そして民地同士の境界が確定することにより、登記簿面積が確定するといことが最大のメリット。

質問

最大のメリットは自分の土地が的確にわかるということ

だが、囲領道路の説明を求められた場合、説明会の開催が可能か。

経済建設部長

要望があれば説明に出かける。

東日本大震災後の市の対応は

質問

今後予想される東海、南海地震のときの対策本部の設置をどのように職員に周知しているのか。また、その災害のときに被災者の確認はどのようにするのか。

総務部長

職員には「職員災害時ポケットマニュアル」を配付し、瞬時に見られるようにしている。

確認しているのか。これは個人情報観点から市が対応できない。

私の町内では自主防災会が、緊急時の所在の確認、各家庭の同居者の状況、血液型、災害時要援護者の把握などをする緊急連絡表を各世帯に配っている。また個人情報の観点からこれに賛同しない方は一応記入されないが、このような啓発を市としてやれないか。

総務部長

機会をとりえて啓発を図っていききたい。

その他の質問

・愛西市合併後の状況

質問

被災された方をどのように